

教務主任養成 講習会での 学びを活かす



教務主任養成講習会に参加する先生方は、基本的に今後所属校での教育・管理の重責を担うことを期待されています。もちろん本人もその自覚をもって参加し、修了するわけですが、そこで学んだ内容をすぐに現場で活かせるかといえば、簡単なことではないでしょう。殊に、学んだことと現場に差があればより工夫が必要となります。

今回の特集は、教務主任養成講習会および厚労省幹部教員研修の修了者に、講習会で得た学びはどういうものか、学びをいかに活かすか、そのためにはどのような働きかけが必要かなどについて、経験をもとにご紹介いただき、今後の講習会参加にはずみをつけていただこうと組まれたものです。また、新たに今年度から開催された東京慈恵会での講習会に関してもご紹介いただきます。

優れた講習会修了者がいても、教育現場で活かされなければ意味がありません。ぜひとも、学校全体で前進するための参考にさせていただきたいと思います。

なお、53巻4号の特集「平成23年度教務主任養成講習会を振り返る」も併せてご覧ください。